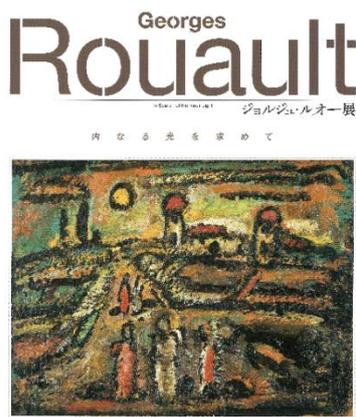


展覧会への入口講座 Vol.18 出光美術館 × 日比谷図書文化館

ジョルジュ・ルオー

—作品の魅力と日本における人気の秘密をさぐる



2015年10月24日(土)～12月20日(日)

出光美術館 展覧会チラシ

日比谷図書文化館では、千代田区を中心とした美術館・博物館で開催中の展覧会を手掛けたプロを講師にお迎えし、今までとは違った1歩踏み込んだ楽しみ方をお届けする「展覧会への入口講座」を開催しています。今回は10月24日(土)から出光美術館で開催中の「ジョルジュ・ルオー展」の関連講座を行います。

講座内容

20世紀フランスの宗教画家ジョルジュ・ルオー(1871-1958)。出光美術館には油彩画《受難》や銅版画《ミセレーレ》などの大作が所蔵され、人気を集めています。キリスト教国でない日本でなぜルオーが愛されているのか。作品の魅力とともに人気の謎にせまります。

講師

八波浩一 (やつなみひろかず)

1962年、福岡県生まれ。国際基督教大学、同大学院修士課程修了(美術・考古学専攻)。成城大学大学院博士課程修了(古代日本・中国美術史専攻)。1992年、出光美術館に入り、現在、同館学芸課長代理。主に、仙厓の禅画および仏教美術、ルオーを担当。出光美術館恒例の「仙厓展」をはじめ、「アジア美術名品展」「パリ・ギメ美術館展」「没後50年 ルオー大回顧展」などを企画、担当。

開催概要

- 日時：2015年12月3日(木) 19:00～20:30(受付18:30～)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(申込順)
- 参加費：1,000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)いずれかにて
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。